

地域の歴史・関連する行政計画等

宮崎駅西口より歩いて1分のところにある東西220mの商店街。北側には宮崎県を代表する高千穂通りが並行している。宮崎の陸の玄関口にあり、つたのからまる洒落た街路灯や、歩行者のためのベンチなどが設置された明るい通りが特徴。通りの中ほどには自治会と協力して建てられた公民館があり、各種勉強会やイベントなどに利用されています。併設している阿彌陀堂に参拝する方も多く見られます。阿彌陀如来をシンボルに、人にやさしい街づくりを目指しています。自主独立、個店の魅力で街の活性化を図っている。あみ〜ろ〜どが愛称。

地域の強み

2020年11月からは宮崎駅前とあみ〜ろ〜どとの一角に大規模商業施設「アミュプラザ宮崎」が開業し、今後ますます活性化が期待される商店街。

①あみ〜ろ〜ど使い方充実事業
宮崎版キッザニアや体験型のイベントを開催する。花と緑豊かな通りを形成する事業を推進し、通りの美化活動を進めている。

②宮崎駅前商店街テナントミックス事業
県内のアンテナショップの開設や阿彌陀堂を中心のまちづくり、「店と居住」空間創出のためのコンバージョンを促進。

地域の課題

- ・個店の魅力ある情報発信ができていない
- ・商店街のブランドイメージが発信できていない
- ・若い人が集まる場所がない
- ・イベント開催時の協力者の確保
- ・アミュプラザや他の商店街との連携

商店街全体の将来像

- ・南九州最大のカルチャーイベントを開催する商店街
- ・他の商店街(アミュプラザ・ニシタチ)と連携・共生する商店街
- ・シンボルの阿彌陀如来像を中心に美化活動が盛んな商店街

具体的なアイデア(申請)

- カレーフェスティバルの開催
- ・個店の商品やサービスにまつわる情報を掘り起こしてPRし売り上げにつなげる。
 - ・店舗で買い物をしたレシートを写真に撮り、Webサイトにアップし応募すると、地域特産品等の景品が当たるオンライン抽選会の実施。
 - ・本家下北沢とのオンラインコラボ企画

ターゲット

- ・地域住民、学生
- ・カレー好きなファン
- ・宮崎駅乗降客 ・観光客

その他のアイデア

- ・高校生・専門学生・大学生を巻き込んだデザインプロジェクトの立ち上げ
- ・各観光スポット・イベントと商店街・個店を結ぶスタンプラリー
- ・各店舗のこだわり商品の紹介動画を制作・配信(視聴すれば購入時に特典あり)。
- ・花や緑のあるまち歩き環境の創出

まち全体との関連

- ・他の商店街(アミュプラザ・ニシタチ)と連携・共生
- ・ニシタチとの回遊性を高める取り組み
- ・様々なカルチャー情報を発信する商店街
- ・地域居住者との共生

プロセス(いつ・誰が)

- ・各商店主との話し合い
- ・地域、商店街、外部専門家など多彩なメンバーでプロジェクトチームの結成
- ・外部協力者・ボランティアの確保
- ・コロナ期においては3カ月程度の期間でスケジュールリング

作り方のポイント

- ・モニタリング
- ・事業評価
- ・チケット販路の確保
- ・商店街の参加者の確保
- ・近隣住民の巻き込み方

参考になる事例

下北沢カレーフェスティバル2021
<https://curryfes.com/>

伊那市中心市街地が街ごとバラ園に
<https://blog.nagano-ken.jp/kamiina/nature/327.html>